



株式会社 紀陽銀行

2024年7月発行

経営企画部 広報・IR室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL. 073-426-7133

<https://www.kiyobank.co.jp/>

統合報告書

ディスクロージャー誌

2024



当行シンボルマークの由緒

コンセプト
『顔・紀州の太陽』



- シンボルマークは「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」「堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざす」という経営理念をデザイン化したものです。
<デザイナー：祐泉 隆（ゆうせん たかし）氏>
- コンセプトとしては「笑顔」を素材にして、「紀州の太陽」を擬人化し、未来社会に向けて温かいサービスを提供するというイメージを表現しました。
- 顔は太陽、髪はアンテナで情報源、鼻は三日月で宇宙を暗示しています。口は笑顔のハート型で地域のお客さまへの感謝の気持ちを表しています。

編集方針

紀陽銀行は、すべてのステークホルダーの皆さまに紀陽銀行グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについてご理解いただくため、本報告書を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC 現:IFRS財団）が提示する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス2.0」などを参考にしました。

※ 2022年8月、国際統合報告評議会（IIRC）とサステナビリティ会計基準審査会（SASB）の合併により2021年6月に設立されたバリューレーティング財団（VRF）は、ESG情報の国際的な開示基準を作成するIFRS財団に統合されました。

報告対象期間

2023年4月～2024年3月（一部2024年4月以降の情報を含みます）

見通しに関するご注意

本報告書には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、さまざまなリスクや不確実性を内包しています。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

銀行をこえる銀行へ

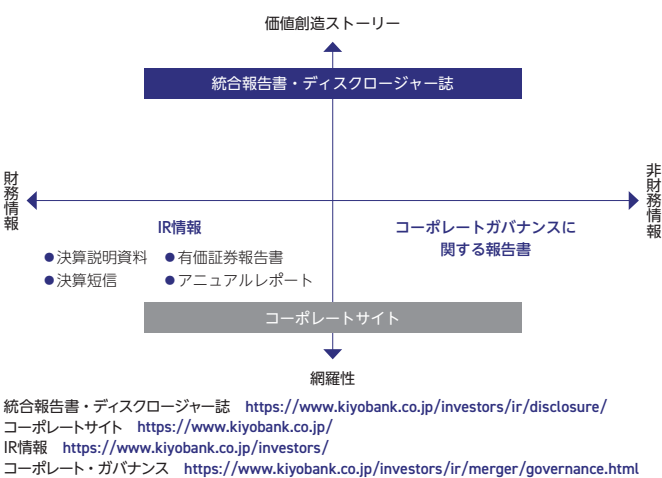
お客さまの期待をこえる
地域の壁をこえる
銀行という枠をこえる

いつでもお客さまのそばへ飛んでいこう、と思う。
地元を、盛りあげようとする人がある。
ならば私たちは、その人の理想をかなえる力になろう。
どんな課題にも、本気で向き合い
そこまでやるかと言ってもらえる銀行に。
わたしたちは、お客さまの期待を、こえてゆきたい。

いつでも境界線を超えたい、と思う。
わたしたちは、地元を知っている。
そこに暮らすお客さま同士を結びつける、
そんな方法を知っている。
結びつける地域が大きくひろがっても
どこまでも力になれる銀行に。
わたしたちは、地域の壁を、こえてゆきたい。

いつでも新しい世界へ跳躍したい、と思う。
歴史を紡いできた誇りを胸に
けれども、いままで通りの銀行とは違う、
そんな道を選びたい。
たんなる金融機関ではない
人生を丸ごとまかせてもらえるような銀行に。
わたしたちは、銀行という枠を、こえてゆきたい。

統合報告書の位置づけ



CONTENTS

01 イントロ

マネジメントメッセージ

03 トップメッセージ

09 財務担当役員メッセージ

価値創造ストーリー

15 紀陽銀行の歩み

17 事業基盤

19 価値創造プロセス

21 サステナビリティ経営

23 マテリアリティ（重要課題）

25 財務・非財務ハイライト

人的資本

27 人事戦略

33 人的資本座談会

経営戦略

37 中期経営計画振り返り

39 第7次中期経営計画

41 営業戦略 営業体制の最適化

43 グループ戦略 成長分野への戦略的投資

45 デジタルバンキング戦略 地域DXの推進

47 サステナビリティ戦略 地域未来の創造

ステークホルダーとの価値共創

50 環境への取り組み

54 法人のお客さま

57 個人のお客さま

58 地域社会

60 株主・投資家とのコミュニケーション

価値創造を支える基盤

61 社外取締役座談会

65 コーポレート・ガバナンス

71 役員一覧

73 リスク管理態勢

79 コンプライアンス態勢

財務・企業情報

81 主要財務データ

83 企業情報